

『つつが虫病』を予防しましょう!!

人から人へ感染が広がることはありません

回覧



【つつが虫病とは】

- ダニの一種であるツツガムシの幼虫に刺されることによって感染する疾患であり、秋から初冬にかけて多く報告されます。
- 刺された後5～14日で発症し、典型的な症例では39℃以上の高熱を伴って発症し、全身の倦怠感、食欲不振、頭痛などの症状が出ます。皮膚には特徴的な刺し口がみられ、その後数日で胸部や腹部を中心に発しんがみられるようになります。
- 市内で増えていますので予防しましょう。



刺し口（国立感染症研究所HPより）



発しん（国立感染症研究所HPより）

つつが虫に刺されないために



山や草むら、やぶ、畑などでの野外活動の際には、

● 肌の露出を減らしましょう

- 長袖・長ズボン・長靴下を着用する
- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻く
- 足を完全に覆う靴を履く（サンダルなどは避ける）

● 虫よけ剤を使いましょう

- ダニに効く成分（ディートやイカリジン）が含まれているものを使う
- 野外活動後は入浴し、刺されていないか確認しましょう

刺された時の対処法



- 刺された時は、無理に引き抜かずに医療機関を受診し、適切な処置を受けましょう。
- 刺された後は、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

受診時に医師
に伝えること

- ① 野外活動の日付
- ② 場所
- ③ 発症前の行動



厚生労働省HPより



ダニ媒介感染症
（滋賀県HP）



感染症対策
（東近江保健所HP）

詳しくは



【問い合わせ先】 東近江市にお住まいの方：東近江保健所 健康危機管理係 TEL:0748-22-7290
東近江市健康推進課 TEL：0748-24-5646